

議員定数削減
61人を50人へ削減！
頑張るぞお！！

平成23年9月議会号

発行日 平成23年10月15日

北九州市議会議員 中村義雄

北九州リハビリ報告

Vol 17号



北九州市議会議員数61人は適正な数ですか？

地方議会の議員定数に関する現状は名古屋市や大阪府、防府市など首長がリーダーシップをとった議員定数削減の議論が進んでいます。また私が今年の1～2月にかけてとった市民アンケート結果（回答者2,366人）では市民の約75%が削減を求めており、そのうちの95%が10名以上の大幅削減が必要と考えているという結果が出ました。

さて、他都市と比較した本市の定数は下図のとおり議員一人当たりの人口を比較すると政令市平均（本市を除く）及び同規模政令市平均（本市を除く）と比較しても多いことがわかります。また政令市平均及び同規模政令市平均の議員一人当たりの人口を本市人口で案分すると政令市平均では44.7人、同規模政令市平均では49.5人となり同規模政令市平均レベルにするには10人以上の削減が必要であることが分かります。

新会派『議員定数削減北九州』結成！

今議会で議長・副議長及び全ての会派に次回市議会議員選挙で定数を50人に削減するよう申し入れしました！

私は地方議会が市民の皆様から今一度信頼を得られるには議員定数を他政令市並にする必要があると考え、現在の61名を50名に削減するために今年の4月に新会派『議員定数削減北九州』をたち上げました。また今回の9月議会では議長、副議長を始め各会派の代表に次回市議会議員選挙で議員定数を50名に削減するよう申し入れをしました。「議員自ら身を切らずして、市民の信頼なし」「市民の代弁者として全うすべし」の精神で自分の

保身を考えず、信念を持って頑張っ
て参ります。

政令市における議員定数と議員一人当り人口の比較

都市名	議員定数 (人) A	推計人口(人) 平成23年4月1日時点 B	議員一人当り 人口(人) B/A
北九州市	61	973,161	15,953
福岡市	62	1,469,069	23,695
政令市平均(本市を除く)			21,765
同規模政令市平均 (人口90～13万人) (本市を除く仙台市、千葉市、さいたま市、広島市)			19,656

50人に削減！

本市人口に按分すると
44.7人

本市人口に按分すると
49.5人

平成22年度決算概要

平成22年度は北橋市政1期目の最終年度であり、市長の通信簿ともいえます。末吉前市長が箱物行政で作った借金返済のピークを迎え、何も対策をとらなければ財政破綻することが推測され、財政の健全化に追われた4年間といえます。毎年100億円の財政改善を行い、平成22年度決算ではなんとか財政調整基金（使える貯金）の取り

崩しに頼らない単年度収支均衡の財政運営を実現しました。また大赤字だった病院事業会計も経営改善により単年度実質収支が黒字に転換しました。

中学校給食の実現や学童保育の全児童化などのマニフェストを実現しながら北橋市長は大きなピンチを乗り越ったといえるでしょう。

歳入（政令市最低の自主財源、政令市最高の国への依存）

本市の自主財源である市税収入は個人市民税減収等により1,575億円と対前年度33億円減となり、3年連続の減収となりました。国からの仕送りにあたる地方交付税等は881億円で対前年度136億円増となり3年連続増加しました。

もともと本市は市税の歳入総額に占める割合は政令市最低（自前の収入最低）、市民一人あたりの地方交付税額は政令市最高（親（国）への依存最高）であり、脆弱な財政基盤に拍車がかかったといえます。

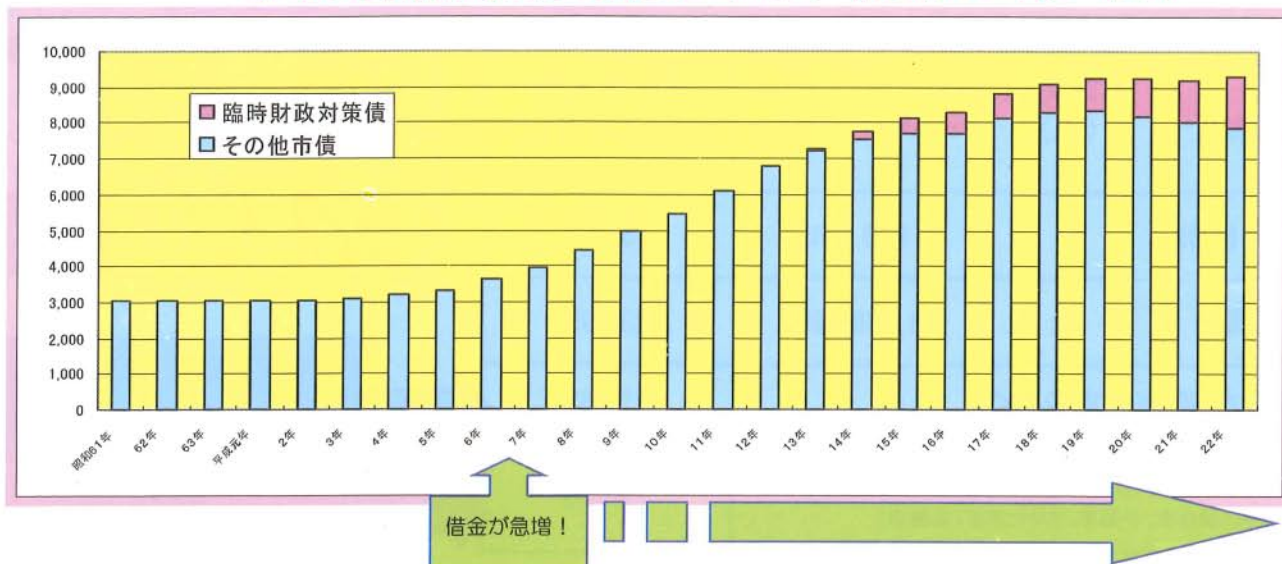
歳出（止められない高齢化の影響、増え続ける生活保護費）

人件費、扶助費（福祉経費や生活保護費など）、公債費（借金の返済）からなる義務的経費は2,521億円で前年度を140億円上回り過去最高額になりました。主な要因は子ども手当の創設、生活保護費の増額（前年度56億円増）、

高齢化による医療・福祉費増などです。

公共事業を行う投資的経費は国からの補助金等は減りましたが、その分市単独事業を上積みし、前年度と同規模の727億円を確保しました。

本市の市債(借金)残高の推移について（一般会計ベース） 図1



将来の見通し 人口動態と適正な市債発行額を考えるべき！

中村よしおの一般質問より（前任期から全議員で質問回数最高 15回目 1期目7回、2期目8回）

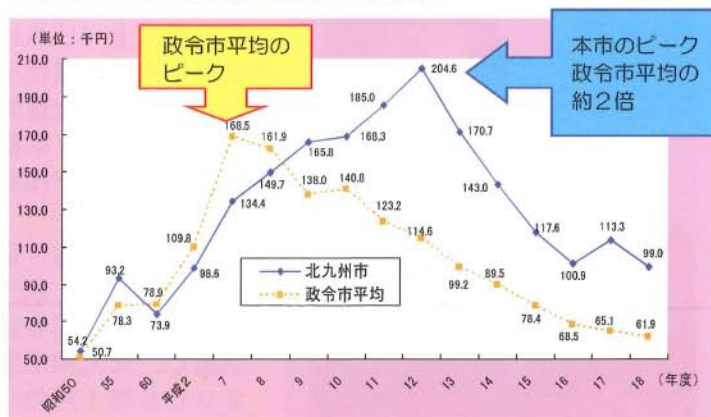
本市の財政は当面の危機は乗り越えましたが、
今後はどうでしょうか？本市の今後の人口動態推
計（図3）をみると、人口が大幅に減少

（2005年993,527人→2035年765,262人 228,265
人減）するばかりでなく、税金を納める生産年齢
人口（15～64歳）の大幅な減少（2005年
604,356人→2035年427,058人 177,298人減）が
推測されています。

高齢化の更なる進展により社会保障費はまちが
いなく増え続けます。働く世代（生産年齢人口）
の負担の程度を表す従属人口指数をみると、
2005年55.2%が2035年には79.2%と1.43倍と
なっており、今まで通り借金を積み重ねては
財政破綻につながる事が予測されます。

本市の市債残高（借金）は図1のとおり平成6年
までは3,000～4,000億円程度で横ばいでした。しか
し平成7年からは急増し現在高止まりの状態です。
図2をみるとわかるように、バブル経済崩壊後、
他の政令市は投資的経費（公共事業）を減らして

市民一人あたり投資的経費の推移 図2
（平成18年度普通会計決算）



いきました。この時期景気回復対策で国は公共事業
を増やす経済対策をうってきたのですが、これに飛
び乗ったのが元建設官僚の末吉前市長です。図2を
見ると他都市が平成7年をピークに投資的経費を減
らしているにもかかわらず、本市はどんどん増やし
平成12年には約2倍になっていることがわかりま
す。このことから本市の適正な市債発行額、市債
残高は平成6年時程度といえるかもしれません。

北九州市の将来推計（図3） 国立社会保障・人口問題研究所

『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計）より

	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
年少人口 (0～14歳)	132,016 13.3%	123,077 12.7%	111,052 11.8%	98,517 10.9%	88,011 10.3%	80,087 9.9%	73,651 9.6%
生産年齢人口 (15～64歳)	640,356 64.5%	599,990 62.0%	552,236 58.9%	517,496 57.5%	490,438 57.2%	461,219 56.8%	427,058 55.8%
高齢人口 (65歳以上)	221,155 22.3%	244,738 25.3%	274,130 29.2%	283,989 31.6%	278,801 32.5%	270,342 33.3%	264,553 34.6%

人口合計	993,527	967,805	937,418	900,002	857,250	811,648	765,262
従属人口指数	55.2%	61.3%	69.7%	73.9%	74.8%	76.0%	79.2%

* 従属人口指数＝（年少人口＋老年人口）÷生産年齢人口×100

生産年齢人口が社会・経済活動を担う年齢層であり、それに対し、年少人口及び老年人口の年齢層は、概して生産年齢人口の被扶養人口に相当することから、従属人口指数は社会・経済負担の程度を示す基本的な指標といえます。

議員定数削減北九州 代表(無所属)

北九州市議会議員 中村義雄 プロフィール



中村よしお事務所

電話 093(932)8533

FAX 093(922)8277

Email: nakamura-y3226@nifty.com

- 昭和39年5月12日生まれ(47歳)
作業療法士(リハビリの専門職 26年目)
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校(テニス部)を経て
国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院
作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務(急性期・回復期・訪問リハ
を経験)
- 北九州市を医療・福祉現場の声が伝わるまちにしたいと思い、
北九州市役所に入職(10年間勤務)
- 「一職員では何も変えられない、議員になって北九州市を変えたい」と
決意し、北九州市役所を退職
2005年1月の北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
2009年2月1日 北九州市議会議員選挙 2期目当選
2011年4月1日 新会派『議員定数削減北九州』結成
- 役職・・・北九州市ソフトボールスポーツ少年団顧問、小倉南北少年ソフトボ
ール連盟顧問、小倉南北小学生バレーボール連盟会長、小倉区剣道連盟顧問、北九
州市食品衛生協会顧問、勝山足立ライオンズクラブ会員、小倉北美術連盟顧問、
(社)福岡県作業療法協会顧問、小倉北消防団第3分団顧問、足原校区まちづく
り協議会副会長、足立北町内会長、社会福祉法人理事・評議員、NPO法人理
事、第64代小倉高校野球部父母会長、元小倉北区中学校PTA連合会会長、元
霧丘中学校PTA会長、元足原小学校PTA会長

北九州市議会基本条例ができました

「議会が何をしているのかわからない」

「市民の代弁者として機能しているのか？」

等、地方議会批判が全国でわき起こっています。北九州市議会では昨年から「市民との共同による開かれた議会」「議会の活性化、議会活動の明確化」等を目指し、北九州市議会基本条例の検討を行ってきました。

主な変更点は一問一答制の導入、所管事務調査など常任委員会強化、議会報告会の開催などです。議会改革の第一歩の条例です。議員定数削減や市執行部が逆質問できる「反問権」の付与など今後も更なる改革をすすめていくことが大切です。

議会報告会開催

平成23年9月定例会の議会報告会が開催されます！！

11月15日(火) 18:30～
八幡西区生涯学習センター折尾分館

11月20日(日) 14:00～
富士見ホール

11月20日(日) 18:30～
生涯学習総合センター(小倉北区大門)

ぜひ、報告を聞き、議員にどんどん質問して下さい